

大阪大学海外拠点現地スタッフ研修

2019/12/26

本学の海外拠点（北米拠点、欧州拠点、ASEAN拠点、東アジア拠点）の現地スタッフが来日し、2019年12月17日から19日の3日間、学内研修を行いました。

初日は、グローバル連携担当の河原理事・副学長から、本学のグローバル連携について講話があり、続いて住吉国際部長から、箕面新キャンパスなど、本学の最新動向についての説明がありました。午後は留学に関する制度説明や留学関連部署の取り組みについての紹介があり、現地スタッフは積極的に質問をしていました。

2日目の午前には、豊中キャンパスで北米拠点が企画する講義を聴講し、午後は総合学術博物館の見学から始まり、基礎工学研究科の留学生相談室を訪問後、UC/UCEAP大阪オフィスのプログラムやインターナショナルカレッジの英語コースの説明を受けました。

この日の最後は、国際交流会館豊中本館を訪問し、留学生が利用する居室等を見学しました。現地スタッフは留学フェア等で頻繁に受ける質問事項について、大変熱心に説明者に確認していました。

3日目の午前には、工学研究科・国際交流推進センターおよび生物工学国際交流センターを訪問し、各センターの国際交流に関する取り組みについて学びました。午後は、拠点ごとに学内関連部署へ訪問し、教職員間のミーティングを行い、最後に総括をしました。

本研修により、普段は海外で業務を行っている現地スタッフが、学内や拠点間との交流を深め、さらに、本学のグローバル連携、国際交流、学生交流、留学等の知見を広げることができ、今後の拠点における各種業務に役立つ、大変有意義なものとなりました。



河原理事・副学長、住吉国際部長、現地スタッフ（前列）



留学生交流情報室「IRIS」にて



基礎工学研究科 Σ留学生相談室にて



国際交流会館豊中本館にて



工学研究科・国際交流推進センターにて



生物工学国際交流センターにて

(グローバル連携担当理事)